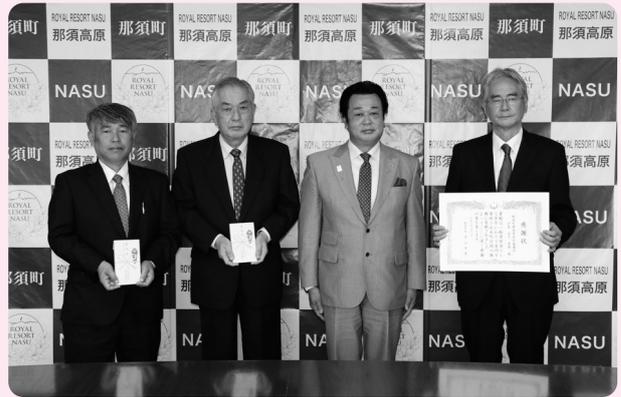


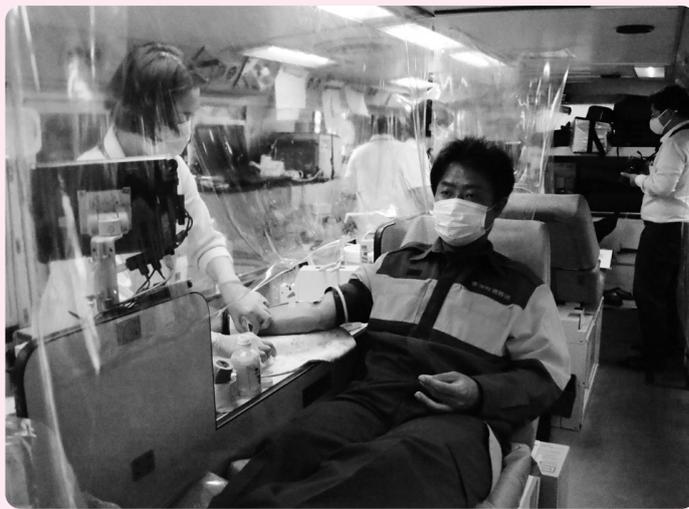
あたたかいお気持ちありがとうございます



有限会社しのぶや様と株式会社シージーエム福島様（白河市）から、災害時の電源供給用として蓄電池バッテリー8台の寄付をいただき、町は感謝状を贈呈しました（6/16 特別会議室）



那須町建設業安全協議会様から、町政の発展と新型コロナウイルス感染症対策として寄付金をいただき、町は感謝状を贈呈しました。（6/3 特別会議室）



町消防団が 献血に協力

町消防団は6月6日、ゆめプラザ・那須で、団員約120人が参加し、県赤十字血液センターの献血に協力しました。同センターによると、消防団による同様の取り組みは、町外にも広がりを見せているといいます。今回で3回目の参加になる団員の渋井城太郎さん（下芦野）は、「輸血用の血液が不足していると感じ、協力できることがあればと思いましたが」と話し、鈴木一団長は、「団員の理解を得ながら、継続できれば」と話しました。



地域とのつながりを感じて こいのぼり法被

田代友愛小で5月29日、「太陽の赤月の白 みんな輝き 勝ち抜こう」のスロガンのもと、春のスポーツ合戦2021が行われました。4・6年生の団体演技「南中ソーラン」では、こいのぼりを再利用した法被を着た児童が、力強い踊りで会場を沸かせました。

この法被は、学校運営協議会からの呼びかけのもと、地域の方や保護者などが、地域住民から寄付を受けた100匹を超える古いこいのぼりを再利用し、4月下旬から約1カ月かけて縫ったもの。6年生は、余った生地を利用して家庭科の時間に作ったはちまきを締め、気合の入った踊りを見せました。

保護者も体験 プログラミング!



りく ゆうき
(斉藤理侏さんと母の侑紀さん)

参加した保護者の斉藤侑紀さんは、「これからは（ICTは）必須だと実感しました。親も学ばなければと思います。今、スマホなどは娯楽のために使うイメージがありますが、今後はプログラミング学習アプリなどにも取り組んでみたいですね」と話しました。



千振保育園で6月10日、年長児11人と保護者がプログラミングを体験しました。平成30年度に2つの保育園で試行し、令和元年度から全保育園で実施しているこども未来課の事業で、今年度は保護者にも参加を呼びかけ実施しています。

園児と保護者は、タブレット端末を使い、画面に表示されたお弁当箱に、ごはんやおかずを詰めて「お弁当」を完成させるなどして指使いを練習したあと、「Viscuit（ビスケット）」というビジュアルプログラミング言語を使い、自分で描いた魚などの絵を、「メガネ」と名付けられた仕組みで動かすプログラミングを体験しました。



お弁当、上手にできたよ！（相馬真海さんと父の照清さん）



米作りの大変さと楽しさを実感

6月10日、学びの森小学校で田植え体験（田んぼアート）が行われました。参加した5・6年生は、地域教育コーディネーターや地域の方々に教えてもらいながら、泥まみれになって元気いっぱい田植えを楽しみました。

植えた苗は、田植えアートになっており、大島地区のゆるキャラ「しまたん」をモチーフに、子ども達がデザインを考えました。見頃は8月中旬で、収穫は9月末〜10月上旬ごろを予定しています。



近場で楽しむ



表紙シリーズ「マイクロリズム」では、那須レジャー施設協会の協力のもと町内で楽しめる観光施設を紹介します

vol.6 那須サファリパーク

まるでサバンナ!?体験型サファリパーク



ワイルドライドに乗って園内を散策。動物達が窓からお出迎えしてくれます。

日本には生息するはずもない野生の動物たちを目と鼻の先で見ることが出来る「那須サファリパーク」。ホワイトライオンやトラ、キリンやゾウをはじめとする約70種700頭羽の野生動物が主に放し飼いで暮らしています。

ここでは、さまざまな動物たちへのエサやりができますが、ウサギやカピバラ等の小さな動物だけではありません。キリンやゾウ等の草食動物のほか、ワイルドライド（全方位金網のバス）では、ライオンへのエサやりもできます。

園内は自家用車やレンタカー、サファリバスが利用でき、好きなシチュエーションで回れるため、子ども連れでも安心して楽しめます。

夜間に園内を回る「ナイトサファリ」では、夜行性動物の貴重な生態を観察することができます。



小さな動物とふれあうこともできます

また、「ゾウライドサファリ」では、ゾウの背中に乗り、約1kmのコースをのんびりと散歩できます。

ITが発達する現代では、テレビやインターネット等で世界中の多種多様な動物を知ることが出来ます。しかし、その「知識」は動物たちのほんの一部分で、実際に肌で感じる息遣いや間近で見る大きさ、仕草等は「体験」しないと分かりません。動物たちの知らなかった一面に出会ってみませんか?

新型コロナウイルス感染防止対策

- ・従業員のマスク着用と関係業者等の消毒や防疫対策の実施
- ・入園時の検温や手の消毒
- ・6歳以上の方へのマスク着用のお願い
- ・お客様同士のソーシャルディスタンスを確保
- ・屋内やバス等の換気と消毒を実施



「辛とんこつ野菜ラーメン」



ほてい
麺 布亭
「辛とんこつ野菜ラーメン」

「麺布亭」の店長薄井智さんがおすすめしてくれたのは、梅雨明け頃から注文が増えるという「辛とんこつ野菜ラーメン」。

こだわりのスープは、さらりとしたとんこつベースに、数種類の唐辛子などをブレンドして加え、うまみと辛みが溶け合ったスープ。辛さは6段階から選べます。

具材はキャベツ、もやし、ニンジン、ニラ、絹さや。んにくとしょう油を加えて炒めており、んにくの香りが食欲をそそります。



左からスタッフの祐子さん、店長の薄井智さん、スタッフのめぐ美さん

薄井さんは、勤めていた会社を早期退職後、知人のラーメン店で修業し、平成25年3月に「麺布亭」を開店しました。「自分がおいしいと思うものを作って提供したい」と言います。店名の「布亭（ほてい）」は、10代の頃から愛して止まないギターリストの布袋寅泰さんにちなんで名付けました。

汗をかきながら食べる、辛くてうまいスープとたっぷりのシャキシャキ野菜で、暑い夏を乗り切れそうです。



No.7

今月の人

地域のために活動する人や
団体を紹介します



町移住定住支援コーディネーター

木下 愛貴さん

移住希望者への情報提供や相談業務を充実させるため、平成30年度から町が設置する移住定住支援コーディネーターの木下愛貴さんにお話を伺いました。

―活動内容は―

移住希望者の住居や生活などの相談に乗ったり、移住に関する補助制度の申請サポートを行ったりしています。りぼーる・田中(旧田中小)で面談を行うほか、電話や電子メール、オンラインでも相談を受け付けています。

―心掛けていることは―

移住希望者からの質問には、実態を正直に答えています。特に、都市部との生活環境の違いなどを丁寧に説明しています。移住した方には、必要に応じて連絡を取り、悩み相談に乗るなどフォローアップをしています。

―今後の展望は―

若い世代にお試しで那須の暮らしを体験してもらうため、町内に一軒家の賃貸住宅が増えると良いなど感じています。また、関東圏以外でも那須の知名度を上げるため、動画によるプロモーションなど、インパクトのある情報発信を継続的に行いたいと考えています。

▼問合せ ふるさと定住課

☎72-6955

町移住定住支援コーディネーター
☎080-9293-3674

・那須文芸

俳句

緑陰を出でて目覚めし赤児かな 杉本 美風
 緑陰や帆布の椅子に背を預け 池田 裕子
 緑陰に木霊す音色 駒ピアノ 高久 巻江
 緑陰に一句生まれる刻を待つ 丹野 セツ
 緑陰へ息を切らせて向かう犬 井上 博子
 緑陰やこよなく那須を愛てし帝 中込とし郎
 郭公の那須野が原を横に飛び 中島 君江
 万緑に夕梵鐘の吸ひ込まる 鮎瀬 汀
 万緑に染まり子を抱く聖母像 松浦 秀文
 野仏の口元去らぬ梅雨の蝶 中島 慶子
 蟻の巣を覗けばどこか大都会 高崎 和子
 子燕や三世代継ぐ理容店 小森 静江
 一人居の武骨な手元胡瓜揉む 七海 英音
 花落ちて胡瓜が生まれる雨の朝 角田富美子
 燕の子里の薫屋の深き軒 齋藤 照代
 三日月の形に曲る胡瓜かな 津田イツ子
 那須七湯置家一つの梅雨灯り 長島 啓子

遊行柳投句箱

老木の青田にゆれる柳かな 大田原市 齊藤 悦子
 蛙鳴く遊行柳の畔かな 横浜市 金子 和実

短歌

雨後に見る緑あふれる高原は 葉滴光りドライブ楽し 田中恵美子
 時鳥声聞えきて夏真近 塩島 恵子
 これから梅雨入り声さわやかに

那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。
 また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 7月16日(金)

■俳句の送付先

〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166
 田中 義郎 ☎72-5044

■短歌の送付先

〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13
 総務課広報広聴係 ☎72-6901

あなたの「声」を聞かせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・意見をお待ちしています。名前と連絡先とともに、郵便、ファクシミリ、電子メールで下記までお寄せください。

■送付先 総務課広報広聴係

〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13

Fax 72-1133 ☑koho@town.nasu.lg.jp

無料相談会



	日時	時間	場所	内容(対応者)	予約・問合せ
行政相談	7月16日(金) 8月6日(金)	9:00~12:00	ゆめプラザ・那須	行政上の困りごと (平山英夫行政相談委員)	自宅 ☎72-5234
人権相談	7月26日(月)	9:30~12:00	ゆめプラザ・那須	人権に関すること (人権擁護委員2名)	保健福祉課 ☎72-6917
心配ごと相談	7月21日(水)	10:00~15:00	ゆめプラザ・那須	身の回りの心配ごと (民生委員2名)	社会福祉協議会 ☎72-5133
子育て相談	7月17日(土) 8月21日(土)	9:00~17:00	子育て支援センター	子育てで不安なこと (児童家庭相談員 ほか)	子育て支援センター(※1) ☎71-1137
こころの健康相談	7月30日(金)	10:00~15:00	保健センター	心身の不調、 人間関係の悩み (カウンセラー)	保健センター ☎72-5858
働く人のメンタルヘルス相談	8月18日(水)	13:30~16:30	大田原労政事務所 (県那須庁舎)	仕事上での悩みごと (産業カウンセラー)	大田原労政事務所(※2) ☎0287-22-4158
交通事故巡回相談	7月28日(水) 8月11日(水)	10:00~11:00 13:00~14:00	那須県民相談室 (県那須庁舎)	損害賠償、示談交渉など (交通事故相談員1名)	県民プラザ室(※3) ☎028-623-2188
不動産相談	7月21日(水)	13:30~15:30	不動産会館県北支部	不動産取引など (相談員2名)	宅建協会県北支部 ☎0287-62-6677
広域無料法律相談	8月12日(木)	13:30~16:30	トコトコ大田原(3階)	法律上の困りごと (弁護士1名)	大田原市総務課(※4) ☎0287-23-1111
高齢者の総合相談	月~金曜日	8:30~17:00	ゆめプラザ・那須 保健福祉課	高齢者の介護、虐待、 福祉、健康など (相談内容による)	地域包括支援センター ☎71-1138 保健福祉課 ☎72-6917.6910
事業承継・引継ぎ出張相談会	8月3日(火)	10:00~15:00	大田原商工会議所	親族内承継・従業員 承継・M&Aでの譲渡 (センター職員)	栃木県事業承継・ 引継ぎ支援センター ☎028-612-4338
障がい等の総合相談窓口	【町委託業者】○指定相談支援事業所ノエル ☎73-5315 ○地域生活支援センターゆずり葉(那須塩原市) ☎0287-63-7777				保健福祉課障がい者福祉係 ☎72-6917

- ※1 子育て相談：別日の希望がある方はご相談ください。
- ※2 働く人のメンタルヘルス相談：相談日3日前(土日祝日を除く)午後5時までに電話で予約。
- ※3 交通事故巡回相談：相談日3日前(土日祝日等を除く)までに電話で予約。予約がないときは、巡回相談を実施しません。
- ※4 広域無料法律相談：8月5日(木)~11日(水)の期間に電話で予約。

消費の豆知識 令和2年度の 相談状況

令和2年度に町に寄せられた消費生活相談は197件で、前年度264件に対し25.4%減となりました。

主な相談内容は、通信販売による契約トラブルの相談が多い傾向にありました。スマートフォンやパソコンでのカタログ販売や、テレビでの通信販売等で商品を購入する際は、購入の条件をよく確認してから申し込みをしましょう。また、このような案件に限らず、普段の消費生活で不安に思ったり、トラブルに遭った場合は、ひとりで悩まずに、すぐに最寄りの消費生活センターにご相談ください。

▼問合せ

- 那須町消費生活センター
☎72-6937
- 栃木県消費生活センター
☎028-625-2227



悪質商法や多重債務などの消費生活に関する相談は、

「那須町消費生活センター」へ!

- 開所日 月曜日~金曜日(祝日・年末年始を除く)
- 時間 午前9時~正午、午後1時~4時
- 場所 那須町役場内1階東側
- 電話 0287-72-6937

「消費者ホットライン」3桁の電話番号**188**番へ

土日など役場が休みの時にも、相談可能な窓口へおつなぎします。(年末年始を除く)

相談内容	相談件数
苦情相談	155件
問合せ相談	42件
合計	197件

令和3年7月・8月のカレンダー

7月10日～8月9日

7月	
10	土
11	日 休日当番医診療 緑の杜クリニック (☎67-3339)
12	月 休館 (図書館、スポセン、文セン、探訪館、ドーム)
13	火 休館 (ゆめプラザ・那須)
14	水 休館 (りぼーる)
15	木
16	金 行政相談 (ゆめプラザ・那須 午前9時～正午)
17	土 子育て相談 (子育て支援センター 午前9時～午後5時)
18	日 毎月第3日曜日は家庭の日です。 ～家庭のきずなを深める日にしましょう～那須町教育委員会 休日当番医診療 なすのクリニック (☎60-5211)
19	月 休館 (図書館、スポセン、文セン、探訪館)
20	火 休館 (ゆめプラザ・那須)
21	水 心配ごと相談 (ゆめプラザ・那須 午前10時～午後3時) 不動産無料相談 (不動産会館県北支部 午後1時30分～3時30分) 休館 (りぼーる)
22	木 休日当番医診療 那須高原クリニック (☎67-2701) 休館 (ゆめプラザ・那須)
23	金 休日当番医診療 那須脳神経外科病院 (☎62-5500) 休館 (ゆめプラザ・那須)
24	土

25	日 休日当番医診療 三森医院 (☎62-1095)
26	月 人権相談 (ゆめプラザ・那須 午前9時30分～正午) 休館 (図書館、スポセン、文セン、探訪館)
27	火 休館 (ゆめプラザ・那須)
28	水 交通事故巡回相談 (那須県民相談室 午前10時～、午後1時～) 休館 (りぼーる)
29	木
30	金 こころの健康相談 (保健センター 午前10時～午後3時)
31	土
8月	
1	日 休日当番医診療 田崎医院 (☎72-0111)
2	月 休館 (図書館、スポセン、文セン、探訪館)
3	火 事業承継・引継ぎ出張相談会 (大田原商工会議所 午前10時～午後3時) 休館 (ゆめプラザ・那須)
4	水 休館 (りぼーる)
5	木 広報那須8月号発行
6	金 行政相談 (ゆめプラザ・那須 午前9時～正午)
7	土
8	日 休館 (ゆめプラザ・那須)
9	月 休館 (ゆめプラザ・那須)

※休館案内 表示と問合せは以下のとおりです。

図書館：那須町立図書館 (☎72-5840)、スポセン：那須町スポーツセンター (☎72-5959)、文セン：那須町文化センター (☎72-6565)、探訪館：那須歴史探訪館 (☎74-7007)、ドーム：那須スイミングドーム (☎72-6788)、ゆめプラザ・那須：那須町子ども未来課 (☎72-6959)、りぼーる：りぼーる・たなか (☎73-5347) です。

※検診等は子育て・ほけんだより(14ページ)をご覧ください。

※内容等は変更になる場合があります。

広報那須8月号 8月5日(木)発行

7月の納税

納期限8月2日(月)

- ・固定資産税2期
- ・国民健康保険税1期
- ・介護保険料1期
- ・後期高齢者医療保険料1期

納め忘れの町税はありませんか？今一度ご確認ください。

- 納税は便利な口座振替で！
- コンビニでも納められます。
- クレジットカード納付や、LINEPay、PayPayでの納付もできます。

(クレジットカードの納付は町県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税のみ納期限内に限ります。詳しくは税務課まで☎72-6904)

毎週水曜日に夜間延長窓口を開設しています

■開設課 (本庁)

- 住民生活課 (☎72-6908)
- 保健福祉課 (☎72-6910)
- 税務課 (☎72-6936)

■開設時間

午後5時15分～7時
※水曜日が祝日の場合は木曜日に開設

那須平成の森だより

自分だけの自然に出会う

第13回 「那須の国立公園指定70年の歴史を経て思うこと」

日光国立公園は、昭和9年（1934年）に、日本で最初に誕生した国立公園のうちの一つです。那須地域は、昭和25年（1950年）に甲子、塩原等とともに拡張、編入されました。当時の『国立公園』（80余年の歴史を持つ、自然公園専門誌）

の千家啓磨氏の記事によると、日光国立公園を拡張したいという考えは、「既設の公園が自然美と人工美を合せ、世界に誇る国立公園とは言っても、規模が比較的小さく、地貌の変化に乏しく、僅かに一両日でその大容

がみられる、こうしたことは、世界の日光として、国際観光事業の重要な役割をはたすには一層不十分である。もっと規模雄大で、変化にとむ公園にしたい、そして、真に国民のレクリエーションの地としての国立公園にふさわしいものとし、同時に外客誘致につとめたい」という理由からだと言われていました。当時、大きな期待の込められた拡張だっただけでなく、野

物語（中略）が現実のものとなる日が近いことと信じている」と結ばれています。70年が経過した今、那須平成の森は、まさにその一部を体現する施設でもありと考えています。宮内庁から譲り受けたこのフィールドが、子どもや

若者の体験や学習の場として活用され、我が国ひいては世界の自然環境の保全を考える入口になることを期待しています。



2021〜2025年までの取り組み方針をまとめた報告書

現在環境省では、日本の国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」とすることを目指して「国立公園満喫プロジェクト」を実施しています。那須地域を含む日光国立公園は、先行的、集中的に取り組



噴煙上る茶臼岳

みを実施する国立公園として選ばれ、さまざま取り組みを行ってきました。詳しくは、環境省のホームページで紹介されています。

<http://www.env.go.jp/nature/anakisu-project/>

環境省日光国立公園管理事務所
所長 千田純子



千振保育園で行われた「親子プログラム体験」取材した。「AI」「ICT」「プログラミング」などの言葉を聞くと、総じて苦手意識を感じる私に対し、子どもたちは「すごい」「またやりたい」と楽しそうな声を上げていた。▼プログラム体験後の保護者向けの講話では、講師を務めた学校教育課プロ

ラミング教育推進スーパーバイザーの星野尚氏が、「プログラミングは、困っている人を助け、社会を良くするための方法として生かせる。子どもたちをAI、ICTのより良い使い手に導いてほしい」と保護者へ伝えた。▼講話を聞いた保護者からは、「基本的なことも危険なことから回避する方法も知らなければ」「親も子どもと一緒に学びたい」「視力（の低下）やインターネットからの悪い影響も親

として守ってあげられる状態ではない」となどのさまざまな感想が出た。共通するのは、AIやICTが私たちの暮らしに「必要」だと感じていること。▼必要だと感じても、何をどう始めたら良いのか分からないのが不安や苦手意識の原因のように感じた。▼8月号から、町のIGAスクール構想や町内の小中学校の取り組みをシリーズで紹介する。まずは学校の取り組みを知ることから始めたいと思

こんにちは 赤ちゃん



令和元年12月5日生
父 厚太さん
母 夏紀さん

峻太くんは…
食べること、ジャングルジムで遊ぶことが大好きです！

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。
詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口

(6月1日現在・住民基本台帳) ()の数字は前月比

●世帯数	10,503世帯 (+20)	出生	9人 (+3)
●人口	24,683人 (+9)	死亡	28人 (+8)
	男 12,281人 (+7)	転入	75人 (-44)
	女 12,402人 (+2)	転出	47人 (-61)
		その他	2人